

(様式 2)

令和 5 年 4 月 20 日

女性の就農環境改善計画

(令和 5 年度女性の就農環境改善支援事業)

実施するメニュー (該当に○)	第 4 の (1) (施設等確保の取組)	
	第 4 の (2) (グループの新たな取組)	○

1 地域取組主体の概要

名称	ノースフラワー	
所在地	岩手県花巻市	
代表者		
主な組織の事業内容 (注)	<p>私達ノースフラワーは、農家のもったいない精神の集まりです。2次加工によって商品に生まれ変わる6次産業化を目的としたグループです。</p> <p>農作物の合間の加工品作りは、大変で身体に負担が、かかりました。そこで加工工房を持たない製造依頼で商品を作る6次産業化を目指しました。</p> <p>社会現象として農家も高齢化が進み、更にコロナやウクライナの戦争により肥料や資材が高騰し農家は悲鳴を上げてます。これでは若者も後継者も農業離れが危ぶまれてしまいます。</p> <p>私達は、岩手の農業女子を元気にし、農業の魅力を伝え、担い手に夢と希望を与える活動をしたいと思えます。そこで、私達ノースフラワーが力を合わせて立ち上がるべく！「ヤッケびじん」と称して自らをモデルとして立ち上がった次第です！</p>	女性農業者の 人数：5人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制

●実施体制

私達は、岩手の農業女子を元気にし、農業の魅力を伝え、担い手に夢と希望を与える活動を目的に集まったグループ「ノースフラワー」です。

ノースフラワーは年代も地域も生まれも育ちも環境も違う5人が、ここに出会い数年の共にして活動出来る奇跡！一生に一度、出会えるか、出会わないか、の最高のメンバーです。私達は、もったいない精神で農産物の6次産業化に取り組んできました。そして、県の6次産業化に取り組んでいる仲間と刺激しあって楽しく活動しています。今までは、近隣の農業女子と仲間作りをしてきました。

これからは、県全体を目指して6次産業化に前向きな仲間作りを目指します。女性農業委員や農協の総代からも農業情報に関することは勿論、チラシを名刺代わりに活動を発信する事で、新しい仲間作りを目指します。岩手の農業女子を元気にする仲間、地域を活性化する仲間を大切に、互いに共感し相談出来る仲間作りを目指します。

●連携状況

構成員が所属するJAいわて花巻、農花（のうか）アグリヴィリーノなどの組織や、同じく構成員が出荷している産直だあすこ、産直あぜみちなど、との女性農業者と連携は出来ています。岩手県で実施している幸せ創る女性農林漁業育成事業を活用している、他のグループの仲間とも連携して魅力ある農業女子の姿を伝え、農業女子の経営力向上や高付加価値化の取り組みで、農業の未来に夢と希望を与える活動も行っています。

●ノースフラワーメンバー（5名）

農作業で辛いとき、みんなで勉強会や研修会があれば気分を変えて、汗まみれから化粧をしてキレイに着飾って気分転換ができる。それがあから、いろんな役も頑張れる。地域で活躍する農業女子を岩手から広める活動に、貢献することを目的として活躍するグループです。

- ・代表 ・農業協同組合総代、産直副会長、メイキング代表、花巻うめうえぐ代表、JA女性部員、農花アグリヴィリーノ代表
- ・事務局 ・農園代表取締役、認定農業者、産直会長、JA女性部支部副支部長、花巻うめうえぐ会員、農花アグリヴィリーノ会員
- ・会計 ・農業委員、農業協同組合総代、福の手プロジェクト代表
JA女性部支部支部長、産直会員
- ・構成員 ・認定農業者、福の手プロジェクト会員、JA女性部員、産直会員
- ・構成員 ・JA女性部員、菓子工房代表、産直会員、花巻うめうえぐ会員

(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

（1）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

●トボトボ

私達の近くにある産直に農作物を出荷する人は多くいますが、製造依頼で商品を出している人は少ないです。増してや6次産業化となると、加工工房を持たないといけなとか、農作業の合間に加工しなければならない等々で身体への負担から足踏みしている人が多く、それが6次産業化の進まない理由の一つになっていることが課題です。

私達ノースフラワーは研修会で、製造依頼ということを知り工房を持たず商品を作れること知りました。商品加工の手間が無い分、農作業に集中出来ます。最初は資金面で不安がありました。県の6次産業化の補助金を受けて試作を重ねて商品を作る事が出来ました。今では、農産物を作る喜び、商品を作る喜び、販売する喜び、を覚えました。

しかし、私達ノースフラワーも、いろんな事にチャレンジして失敗もしてきましたが、6次産業化の楽しさをアピールできませんでした。そんな中で、専門家から6次産業化で製造依頼の商品を販売していますという大きなポスターで、アピールしてみてもアドバイスをいただき、ヤッケ姿の母ちゃんが並んで「ヤッケびじん」と称して自らモデルとしポスターを作成しました。

●ドキドキ

次に製造依頼で商品を作るにあたり、私達のこだわりを知ってもらうことも必要です。米生産農家の私達は、種まきから米になるまで一貫して生産しています。お米は土地の気候、気象、地形、地質、景色で味は、全く違います。世界に一つだけの私達のブランドです。味にこだわるからこそ愛される商品が生まれます。私達は、米作りに一切手を抜きません。そして妥協もしません。だからこそ生産者の分かる商品作りを大切にしています。米の消費が減少している今だからこそ真剣に取り組まなければなりません。米生産農家の私達は、米の消費も増やしたいです。6次産業化を通して消費者と米生産農家を繋ぐには、どのようにすれば良いか検討しました。

近年は災害が多く、東日本大震災を経験した私達は保存食の大切さを身に染みて感じています。お米があっても水や電気がないと、ご飯に出来ない。そんな時「パックご飯」を目にしました。私達は、生産者の顔写真入りのパッケージ、世界で一つだけのご飯で「パックご飯」を作り、生のお米とセットで通年販売が可能ではないかと話し合いました。ただ「パックご飯」の試作加工は注文のロットが大きく、資金面で断念していました。

●ワクワク

そこで、本事業で取り組む商品開発では「パックご飯」の試作を作り、米生産農家のこだわりの世界に一つだけの「パックご飯」を作る必要性があります。そのために構成員のこだわりのお米を持ち寄って試食会を行い、その中で最も良いご飯で、配布用「パックご飯」のサンプルを作ります。パッケージには生産者の顔写真入りのデザインを使い世界で一つだけのブランド商品を作ります。

また、試食を予定している「パックご飯」は、米生産農家として私達を広く知ってもらおう名刺代わりに商品にしたいと考えています。サンプルの配布の中には、「ヤッケびじん」のチラシと「パックご飯」のアンケートを入れて私達の活動をアピールします。

私達は、地域に根差した活動をして5人それぞれ皆個性があって、それぞれの欠けている所を埋めあって5人がいて更に5倍のパワーを発揮できる力を持った個性派メンバーです。みんなで研修して、いろんな情報交換をして家での作業に活かし、いろんな人と関わる事で、いろんなアイデアが生まれたり、自分でも思いつかない様なことを聞けたり、とても楽しい勉強になってます。一人ではできないけれど、5人集まれば千人力のパワーを発揮できる、これぞ世界を巻き込むノースフラワーです。そんな私達と一緒に世界で一つだけのブランドを、一緒に作りませんか、と呼び込みします。産直や各機関にポスターを張り、6次産業化の製造依頼に共感出来る仲間作りをするチャンスだと考えます。ポスターやチラシで顔を覚えてもらい、どこでも声をかけやすい雰囲気を作り、女性農業者の活躍の定着を図りたいです。そして、一人でも多くの『世界で一つだけの』農産物を創る女性農業者を増やしていきたいです。

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画(実績)

確保する施設等の区分		①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者の人数 (注2)	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された者を含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事する者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。(3)において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分		①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他									
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業者の人数	事業費 (千円)		備考				
						国庫補助金					
①	7月	お米の選定会議	2	5	3.24	3.24					
	8月	試作お米1kg×10個 (玄米銀河のしずく、花巻産) (玄米ゆみあずさ、花巻産) (玄米ひとめぼれ、花巻産) (玄米ひとめぼれ、江釣子産) (玄米ひとめぼれ、煤孫産) (精米銀河のしずく、花巻産) (精米ゆみあずさ、花巻産) (精米ひとめぼれ、花巻産) (精米ひとめぼれ、江釣子産) (精米ひとめぼれ、煤孫産)	2	5							
	10月	サンプル 送料						1.56	1.56		
	12月	10種類の試食、検討会 試食サンプル加工製造 (玄米60kgで試算) サンプル用60kgお米	2	5				458.26	458.26		
	1月	サンプル 送料						19.44	19.44		
		サンプル 送料	2	5				6.3	6.3		
		サンプルのアンケート調査	5	5				2.2	2.2		
		はがき100枚 ポリ袋(入れ物)						6.3 0.75	6.3 0.75		
	③	10月	ポスター印刷後張り付け	1				3	30.03	1.95	
		10月	チラシ作り	2				3	5.5		
1月		チラシ配布	3	3							
1月		アンケート回答調査	2	4							
計					533.58	500					

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開
①	<p>「パックご飯」の商品開発は、会員5名が生産した白米5点、と玄米5点の試作品を合計10点作ります。試作品10点の中から1点を選び、私達の世界で一つだけのブランドの「パックご飯」お米60kgから約800個製造し、活動や商品評価のアンケート用として、幅広く活用します。</p> <p>パックご飯のアンケートは、販売価格の参考に役立たせたいとおもいます。</p> <p>今後の展開として、アンケートをもとに、会員全員の「パックご飯」も商品化します。今回の商品開発の試作は、私達の「世界で一つだけのパックご飯」に拍車がかかると思います。</p>
③	<p>「ヤッケびじん」として、岩手の農業女子を元気にし、農業の魅力を伝え担い手に夢と希望を与える活動をアピールするために、遠くからも目立つような大版ポスターを制作し、関係機関の施設などに掲示してもらい「パックご飯」のサンプルと活動案内のチラシを名刺代わりに配布する機会を作ります。</p> <p>そして、私達と一緒に「世界で一つだけのパックご飯」を作りませんか仲間を募集します。</p> <p>今後、「ヤッケびじん」の輪がひろがり、「ヤッケびじん」フェスティバルが開催されるまでになるように、岩手いえ全国の農業女子に元気と夢と希望を与え、盛り上げに一役買うような活動を展開したいです。</p>

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>①6次化産業の研修会への参加（既存）</p> <p>②JAいわて花巻の研修会・勉強会への参加（既存）</p> <p>③食育活動への参加（既存）</p> <p>④各機関にノースフラワーの情報を提供する</p> <p>⑤パックご飯の勉強会、開発検討会</p> <p>⑥誰からも声を掛けられやすい雰囲気を作る</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>①6次産業化の講習会（既存）</p> <p>②農業情報を共有すること（既存）</p> <p>③女性農業者の周知</p> <p>④ノースフラワーの活動の推進</p> <p>⑤パックご飯の勉強会、開発検討会</p> <p>・パックご飯の試作を製造依頼する</p> <p>・10種類の中から、1種類のサンプルを委託加工する</p>	<p>【目標】</p> <p>10種類</p> <p>800個</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・パックご飯のサンプルとアンケート葉書を配布（商店街） ・パックご飯のサンプルを関係機関に配布（用紙入れる） ・産直の店舗等でサンプル配布（用紙入れる） ・JAいわて花巻女性部サンプル配布（用紙は自己負担にて） ・私達の活動の案内のチラシも入れる ・アンケート回収ボックスを置く（関係機関、産直） ⑥「ヤッケびじん」のポスターを作り各関係機関に張る ・私達の活動の案内のチラシ作り ・チラシの動向の確認 ・誰にきかれても活動を伝えられるようにする <p>【具体的に実施する取組内容】</p>	<p>100件</p> <p>200個</p> <p>300個</p> <p>200個</p> <p>5箇所</p> <p>20箇所</p> <p>500枚</p>
10月～1月	①6次化産業の研修会への参加（既存）	
通年	②JAいわて花巻の研修会・勉強会への参加（既存）（年6）	
6月、10月	③食育活動への参加（既存）	
7月～2月	④ノースフラワーのリーフレットの配布	
	・ノースフラワーの情報を提供する	
7月	⑤パックご飯の勉強会、開発検討会	
8月	・パックご飯の試作を製造依頼する	
10月～12月	・パックご飯のパッケージデザインの検討（3回）	
12月	・10種類の中から、1種類のサンプルを製造依頼する	
1月	・パックご飯のサンプルとアンケート葉書を配布（商店街）	
1月～2月	・パックご飯のサンプルとチラシを関係機関に配布	
1月～2月	・女性部、産直等でサンプルとチラシを配布	
1月～2月	・アンケートの集計及び検討会（2回）	
10月～2月	⑥「ヤッケびじん」のポスターを作り各関係機関に張る	
10月～2月	・チラシづくり	
1月～2月	・チラシの効果の検討会	

（注）3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	1人	
	事業実施翌年度	1人	
	合計	2人	
（女性農業者の新規確保人数の内訳）			
自営農業就業者	2人、雇用就農者	人、アルバイト等	人

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 (第4の(1)「施設等確保の取組」の応募者のみ記載)
【事業実施年度】 (取組予定業務) (採用時期) (人数)
【事業実施翌年度】 (取組予定業務) (採用時期) (人数)

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。